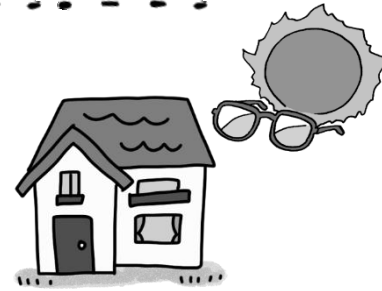




住まいのヒント 【住宅の日焼け対策】

日当たりが良いことは快適な住環境のポイントのひとつですが、反対に、家の壁や床などが薄く(白く)退色、色あせてしまう「住宅の日焼け」の悩みも発生しやすくなります。紫外線による悪影響をできるだけ小さくする対策をご紹介します。



■ 日焼けの原因を知る

私たちの皮膚を黒くする日焼けの原因になるのは「紫外線B波」、住まいの日焼けの原因となるのは「紫外線A波」です。紫外線B波はガラス1枚挟むだけでも大幅に減らすことができますが、紫外線A波は窓ガラスやカーテンなどを透過してしまいます。

このA波が引き起こす化学反応によって、家の中の床、壁、家具、家電、ファブリック類などが変色、退色してしまいます。

■ 紫外線対策

紫外線が家の中に入り込む大きな入り口である窓ガラスの内外に、カーテンに加えてもうひとつ紫外線を遮るフィルターを設けると効果的です。例として、屋外に設置する「サンシェード」や、昔ながらの「すだれ」などが挙げられます。

また、建物壁面の蓄熱予防に、ゴーヤやアサガオなどツル性の「グリーンカーテン」を育て、日焼けのほか植物の葉の蒸散による気化熱による気温低下を期待する方法もあります。



なんでもランキング

お盆休みは、実家に帰省したり、大勢の親戚を家に招待する予定がある方も多いのではないのでしょうか。そんな時に役に立つのがフードのデリバリーサービスです。今回は、特別な日に自宅にデリバリーを頼みたいものランキングをご紹介します。

1位の「すし」は、盛り付けられたすしが届くデリバリーのほか、すし職人が自宅まですしを握りに来てくれるサービスもあるようです。3位の「うなぎ」は、季節的にもぴったりの料理ですね。おもてなしのお料理にお悩みの際に、ぜひ参考にしてみてください。

特別な日に頼みたいデリバリー

1位	すし	6位	松花堂弁当など和食弁当
2位	ピザ	7位	ステーキ
3位	うなぎ	8位	イタリア料理
4位	オードブル	9位	フランス料理
5位	高級中華料理	10位	そば・うどん

家づくりSIHOOTワード



【犬と暮らす家】
前回の「ペットと暮らす家」に続き、犬と暮らす家の設計ポイントをご紹介します。

■庭で遊べるドッグラン、家の中に回遊導線を
お散歩が大好きなワンちゃんには、犬の足に優しい芝生のドッグランスペースを作っておけると良いでしょう。もしくは、家の中にリビングダイニング、廊下まで回遊できる動線を計画すると、室内を自由に動き回ることができ、シニア犬になっても運動不足の解消になります。

■専用の足洗い場や玄関土間収納
準備や片付けが意外と大変なお散歩。玄関ポーチ脇などに専用の足洗い場があると、家へ入る時もスムーズです。その場合、寒い冬場のために、お湯がでるようにしておくのも良いでしょう。また、玄関土間収納があると、リードやお散歩バッグ、足拭きタオルなど、すぐ使うものをしまっておけるので便利です。

■滑りにくいフローリングで安心
フローリングは滑りやすく、犬の足腰に負担をかけてしまうことも。シリコンコーティングやコルク材のフローリングを取り入れることで、滑りにくく安心の床にすることができます。



おうちがしあわせ 【住まいの害虫対策】

暮らしの中に現れやすい「生活害虫」は、気温が高くなるにつれて活発化します。特に一戸建てにお住まいの方は、夏になると悩まされることも多いのではないのでしょうか。虫に寄り付かれない住まいにするポイントをご紹介します。

■ 家の中を「湿らせない」

普段から家の中を湿らせないことは重要なポイントのひとつです。多くの虫は湿った環境、水場を必要とするためです。

- ・換気を怠らないようにすること
- ・加湿のしすぎを避けること
- ・湿度計を設置し湿度コントロールを心がけること

などが挙げられます。

■ 家の中で「増やさない」

虫を家の中で繁殖させない、つまり、虫に継続的にエサを提供しないようにすることです。ゴミやホコリやカビをそのままにせず、こまめな掃除を心がけると良いでしょう。

■ 家から「追い出す」

人間に悪影響を及ぼさない範囲で、発生してしまった虫を捕獲したり、虫に毒餌を与えたり、虫自体に忌避させたりする道具や薬剤を活用することも必要です。

- ・夏は蚊取り線香を焚いておく
- ・ゴキブリが出ないようにする忌避剤や毒餌剤を家のあちこちに撒いておく
- ・ダニを捕獲する「ダニ採りマット」をベッドや布団に仕込んでおくなどが挙げられます。

